

報道関係各位

2025 年 10 月 xx 日

一般社団法人デジタル創続推進機構

日本初！AI 連動の終活手帳「スマート終活手帳 2026 年版」予約受付を開始

終活 AI コンシェルジュ・サラスの最先端 AI を搭載、紙とデジタルを統合した“話せる手帳”が登場



一般社団法人デジタル創続推進機構(東京都渋谷区 代表理事:濱川智 以下、当機構という)は、SAMURAI Security 株式会社が提供する終活 AI コンシェルジュ「サラス」を搭載した終活手帳「スマート終活手帳 2026 年版」の予約受付を開始いたしました。

本商品は、フィジカル(紙の手帳)とデジタル(AI=大規模言語モデル)を統合した、終活分野における日本初の“フィジカル商品(手帳)”です。わたしたちは本商品を軸に自治体や企業との連携を積極的に行い、すべての高齢者が自律的な終活に取り組める環境構築を目指します。

スマート終活手帳 2026 年版公式サイト

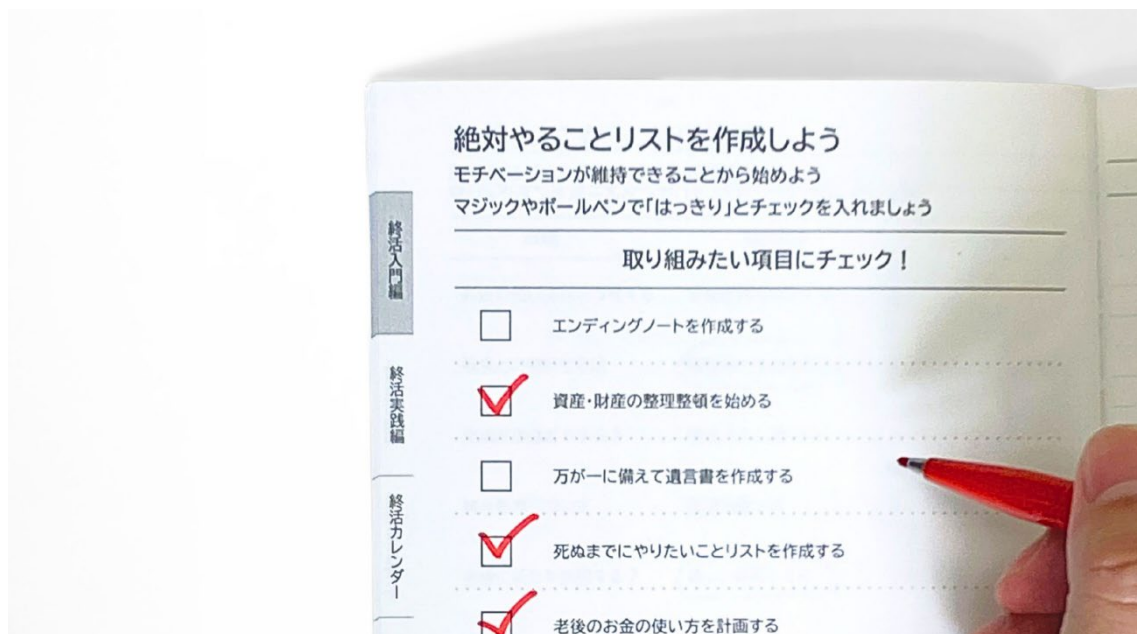
<https://page.digital-souzoku.org/smart-note2006>

日本の終活が抱える問題を解消する

日本は 3 人にひとりが 60 歳以上という高齢社会であり、相続・介護・孤独・空き家問題などが深刻な社会問題となっていることから「自律的な終活」の普及および浸透は極めて重要なテーマと言えるでしょう。

しかし、国内 60 歳以上のおよそ 9 割が、終活に取り組んでいない、もしくは取り組み中で未完了という状態であり、万全の備えが完了している割合は 10%にも満たない状況です。

スマート終活手帳はそんな 9 割の高齢者を支える終活商品です。エンディングノートや遺言書を書く前に、専門家に相談する前に手に取っていただく「初めての終活」支援をテーマに開発いたしました。



チェックするだけ、メモを書き込むだけという圧倒的に簡単な作業だけで終活がサクサク進むことが最大の特長です。なぜそんなに簡単な作業だけで OK なのか？それはスマート終活手帳だけが持つ AI 技術との連携があるからです。

スマート終活手帳はノートへの書き込みやチェックリストを読み取ってアドバイスをお届けする「AI コンシェルジュ」機能と連携します。つまりスマート終活手帳は、ノートを使えば使うほど有意義なアドバイスが手元に届く画期的なサービスであり、「なにをすればいいかわからない」という終活最大の問題を AI と一緒に解決する日本初の「話せる手帳」なのです。

安心と信頼の AI を採用

スマート終活手帳と連携する AI は、これまで 4,000 人以上の終活相談の実績があり、また、京都市や世田谷区、葛飾区などの自治体（公民連携事業）や多数の企業へシステム提供の実績がある「安心と信頼」の AI システムです。ご安心してご利用いただくことができます。

※終活 AI コンシェルジュ「サラス」 <https://navi-saras.jp>



スマート終活手帳は、書き込み・読み取り・分析・提案の機能が一体化した「**話せる手帳**」です

スマート終活手帳 3 つの革新

スマート終活手帳は、高齢者が慣れ親しんだ「手書きの手帳」の自由度と記録性、そして最先端 AI による学習支援と伴走機能、そして会話効果を組み合わせることで、従来の終活支援サービスとは一線を画す、圧倒的な高齢者フレンドリーな終活体験を提供する 3 つの強みを持っています。

1. 手書きの使いやすさと記録性

チェックリストやクイズなど、初めての終活でもかんたんに自分の意思や希望を整理整頓して記録できる終活支援コンテンツ満載の手帳です。

2. AI コンシェルジュによるパーソナライズ支援

ノートの書き込みを QR コードから送信するだけで、専用の終活 AI コンシェルジュが内容を分析し、一人ひとりに最適なアドバイスをお届けします。

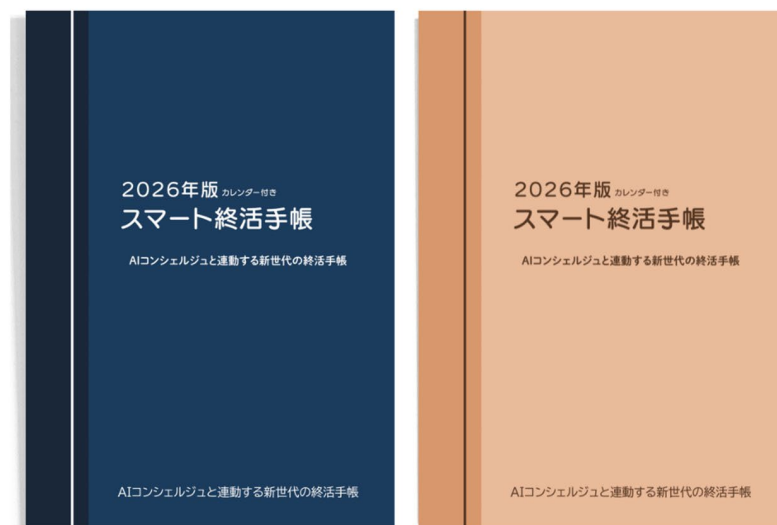
3. “話せる手帳”が解消する孤独感

専用の終活 AI コンシェルジュは、音声会話に対応しており、終活以外の雑談にも対応できるため単身者の孤独感の解消に寄与することが期待できます。

これら 3 つを単に足し合わせるのではなく、ユーザーごとに最適化されながら統合して「書く」「話す」「考える」が一体となった唯一無二の UX を提供します。

スマート終活手帳の想定ターゲット

- エンディングノートは難しいと思う方、書き始めたけど諦めたことがある方
- 本格的な終活の前にやることを確認したい方、全体像を知りたい方
- 誰かに教えてもらいながら進めたい方、一人で作業することが苦手な方
- 便利でスマートな方法が良い、IT や AI に抵抗感がなく楽しみながら進められる方
- 新しいガジェットが好きな方、先進的なデジタルアイテムが好きな方
- 家族や夫婦で一緒に終活に取り組みたい方



スマート終活手帳製品仕様

商品仕様

判型:A5 サイズ(148×210mm)

ページ数:48 ページ

価格:1,200 円(税込)

製本:中綴じ／上質紙使用

構成

スマート終活の便利な使い方

終活入門編(終活チェックリストや終活診断)

終活実践編(相続対策や終活支援サービス)

終活 10 年カレンダー(2026～2035 年)

2026 年カレンダー

備考

対応 AI:終活 AI コンシェルジュ「サラス」(大規模言語モデルベース)

予約開始日:2025 年 10 月下旬

発送予定:2025 年 11 月下旬より順次

販売方法:公式サイトによる直販

今後の展開:地域導入と政策 DX への接続

スマート終活手帳は、自律的な終活支援・ウェルビーイングの向上という高齢者(当事者)の支援商品としての役割だけでなく、連動する AI コンシェルジュから得られるデータによって地域や市場固有の終活課題や老後のリスク、さらには社会環境の問題などが浮き彫りにすることが可能です。

また、これらのデータを有効に利用することで EBPM の実現、終活政策・施策全体の DX にも貢献できると考えています。そうした意味では、スマート終活手帳は圧倒的なコストパフォーマンスを誇る終活基盤になる可能性に満ちています。

スマート終活手帳はすでに、東京都世田谷区の地域事業者と連携して、体験版を高齢者向け拠点等で配布を行っておりますが、今後はさらに、自治体・福祉団体・医療機関・保険会社・不動産事業者などとのパートナーシップのもと、

地域密着型の終活支援およびウェルビーイング向上を軸とした持続可能な社会課題解決の活動を進めてまいります。

※本プレスリリースに記載された「日本初」「フィジタル商品」等の表現は、当機構が 2025 年 10 月に実施した国内先行調査結果に基づくものです。必要に応じて詳細な調査レポートの提供が可能です。

法人情報

一般社団法人デジタル創続推進機構

<https://digital-souzoku.org/>

設立:2023 年 6 月 13 日

所在地:東京都渋谷区富ヶ谷 1-3-8

代表理事:濱川 智

事業概要:公益に資する終活支援事業

SAMURAI Security 株式会社

<https://samurai-sec.jp>

代表取締役 CE:濱川智

事業内容:終活 DX プラットフォームの企画・開発・運営

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

一般社団法人デジタル創続推進機構

直通:080-9896-3104 担当濱川

メール:info@digital-souzoku.org